



(み) 未来を見つめ (さ) 支え合い、磨き合い (と) 共に高まる「美里っ子」

学校報

みさと

＜学校教育目標＞

夢をもち、心豊かに、ねばり強くがんばる子ども

男鹿市立美里小学校

R元. 5. 31 No. 2

地域での学びがスタートしました

元号が令和に改まり1か月が経過しました。少しずつ学校も社会全体も、新しい元号に慣れてきたように感じます。

美里小学校の特色の一つとして、地域との結びつきが強い教育活動が多いことが挙げられます。“ふるさと男鹿”を学びの場とし、様々な体験や地域の方々とのふれ合いを通して、自分の生き方の基盤を育んでいこうというものです。スタートした活動を紹介します。



◎5月7日(火) 3年生 梨の授粉作業

「男鹿のなしはかせになろう」の学習の一環として、五里合の藤原農園に行き、授粉体験をさせていただきました。農園の方の説明を聞き、ピンクに色づけられた花粉を凡天（耳かき用の綿毛のことです！）のような道具を使って、一つ一つの花に丁寧に交配させました。この後、摘果や袋かけの作業を経て、最後に楽しい収穫を行います。美味しい梨を収穫するまでの大変な苦労の一端に触れることができました。



◎5月14日(火) 4年生 校外学習

社会科の授業で「八郎潟周辺クリーンセンター」と「滝の頭浄水場」を見学しました。「八郎潟周辺クリーンセンター」は熱回収施設、リサイクル施設となっていることを説明いただきました。「滝の頭浄水場」では、毎日利用している水が家に届くまでの流れを確認できました。活動を通してゴミを分別すること、節水を心がけることの大切さを学ぶことができました。



◎5月22日(水) 5年生 田植え

J A秋田なまはげさんを通して、地域の渡部和也さんから田んぼをお借りして、5年生が田植えを行いました。ほとんどの子どもにとって初めての経験で、裸足で田んぼに入った時には、土や水の感触に大きな歓声が上がりました。慣れない足元に悪戦苦闘し、泥まみれになりながらも一つ一つ丁寧に植えることができました。腰の痛さを訴える子どももあり、米作りの大変さを身をもって体験することができました。今後、小さな苗が金色の実りを迎えるまで生長を見守り、米作りの理解を深めていきます。

一つ一つの活動（体験）を通して、子どもたちが“ふるさと男鹿”に愛着をもち、いつまでも大切にしていきたいという心を育てたいと考えています。

トピックス

● 伝統の小中合同あいさつ運動

潟西中学校の生徒が学校に来て、年に2回、企画委員と合同のあいさつ運動を行っています。今回は天候にも恵まれ、児童玄関前に気持ちのよい声が響きました。子どもが登校した後は各教室を回り、あいさつをしてくれました。地域の小学生と中学生の強い結び付きを感じました。



● みんなで頑張った運動会

5月25日、気持ちのよい五月晴れの下、各学年の徒競走、学団ごとの趣向走やリレー、応援合戦、全校表現種目などが行われました。ひたむきに頑張る美里っ子の姿や、趣向走や親子種目での微笑ましい様子が見られ、大いに盛り上がりました。ご協力くださいました保護者や地域の皆様、ありがとうございました。



入賞おめでとう！

- ◇第46回弘前さくら祭り少年相撲大会
小学校6年 個人 第3位
- ◇第23回わんぱく相撲秋田ブロック大会
男子6年 関脇
女子 横綱



6月の主な行事予定

3日(月)	さつまいも・花の苗植え クラブ活動
4日(火)	全校集会 ふるさと探訪(3年)
12日(水)	心電図検査(1・4年)
14日(金)	給食試食会 親子学習会(1年)
17日(月)	職員会議
18日(火)	炭焼き体験(4年) 眼科検診(全校)
19日(水)	歯科検診(全校)
20日(木)	新体力テスト
21日(金)	宮沢海岸クリーンアップ
25日(火)	校外学習(5年)
26日(水)	修学旅行(6年)(~27日)
30日(日)	市P連親善キックベース大会

※ お知らせ

6月21日(金)、宮沢海水浴場で、なかよし班(全校縦割り)活動の一環としてクリーンアップを行います。時間は、9時15分から開会式で、9時30分から10時10分までです。小雨でも行う予定です。保護者の皆様、地域の皆様、都合の付く方は、子どもたちと一緒に活動しませんか。参加をお待ちしています。

※※※ 校長室の独り言 ※※※

毎朝、玄関で子どもたちを迎えるのが日課となっています。子どもたちの「おはようございます」という元気な声と笑顔からパワーをもらっています。反対に子どもの声に元気がないときは、ちょっと心配になります。

先日の出来事ですが、ある子どもが、送ってくれた家族に「ありがとう、行ってきます！」と話す姿を目にしました。それを聞いたお家の方は「行ってらっしゃい」と声を掛け、笑顔で見送りました。送ってもらうのが当たり前ではなく、送ってくれた家族へ感謝の気持ちをもっているんだと感じました。その日はいつも以上に元気をもらいました。



＜小中合同あいさつ運動＞